

明高だより

一年文理選択講演会

七月八日(月)、京都造形芸術大学の吉田先生を講師に、社会環境と大学卒業後の生き方を見据えた文理選択のあり方について講演会を実施しました。



社会では従来の文系理系の枠組みがなくなりつつあること、自分の得意分野を軸に多様な分野を学び、それを複合的に組み合わせることで独自のアイデアを出す力が必要であることなど、文理選択をする上で多くの示唆をいただきました。今、主体性や協働性など多様な力を評価する大学入試への転換が図られておりその背景にあるものを理解できました。



前期球技大会

七月十一日(木)・十二日(金)の二日間、前期球技大会を実施しました。



一日目は雨天のため三年生だけがバレーボールを実施し、終了後は全国大会に出場する男子ソフトボール(近畿大会にも出場)・合唱部、近畿大会に出場する男子/女子ハンドボール部・女子剣道部の壮行会を行いました。二日目は天候が回復し、早朝より生徒会や運動部の生徒達がグラウンド整備に尽力してくれました。おかげで全学年すべての競技を実施することができました。クラスの団結や絆を深めた二日間でした。

美術科見学会

七月二十日(土)、中学生及び保護者対象の美術科見学会を開催しました。



美術科の目指す教育・充実した学び・特色ある教育活動・基礎科目と専門科目・卒業後の進路等について説明をしました。その後、生徒体験談として一年生と二年生の各代表が美術科で学ぶ喜びと楽しさ、苦労等、具体的なエピソードを交えて語りました。また、広島市立大学を卒業した美術科OBが明高での思い出や現在の仕事内容に触れつつ、大学での学び、高校時にしておかなければならないこと等について熱く語ってくれました。

神戸大学との連携事業

本校では神戸大学と連携して高大接続推進事業を展開しています。その一環として、七月二十二日(月)、本校理数探究類型の二年生全員が自然科学に対する興味関心を高めるとともに進路実現の意欲を向上させる目的で神戸大学理学部において模擬講義を受講し、施設見学を行いました。



模擬講義では、末次健司講師が「生き物の助け合いの実態」、持田智行教授が「機能性イオン液体の物質科学」と題して身近な話題を交えつつわかりやすく講義をしてくださいました。生徒達は自然科学を研究する意義やその面白さを体感しました。中には、神戸大学理学部への進学を口にする生徒もいました。

理数探究類型実験講座

七月二十六日(金)二年生理数探究類型生徒を対象に課題研究及び大学進学後の実験・研究のための基礎力を養成する目的で、夏季実験講座を実施しました。



化学分野は「正確な濃度の食塩水を作る」「モル濃度を計算する」、生物分野は「ミクロメーター使いこなす」というテーマで行いました。生物分野では、オオカナダモの細胞の大きさや葉緑体の移動速度を測定する過程で同使用法を習得しました。

明石高校ホームページ



[明石高校]で検索

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~akashi-hs/>